

第7回 いしかわの森づくり検討委員会 要旨

1 日 時 平成18年8月17日(木) 10:00~12:00

2 場 所 県庁行政庁舎1109会議室

3 出席状況 出席委員 11名(全委員13名)

4 議事概要

(1) いしかわの森づくり財源検討部会報告書について

(2) 今後のいしかわの森づくりで想定される整備の手法及び事業規模について

5 主な発言内容

- ・ 県内で7月豪雨災害が発生したが、森林の重要性等を県民にPRすることが大切
- ・ 学校教育の中で子供達に森林環境教育を行うことも重要
- ・ 白山水系等水の恩恵を考慮すると水の大切さをPRすることも必要
- ・ 森林所有者の高齢化等が進んでおり、森林の荒廃をこれ以上進めないためにも、新たな森づくりの早期実施が必要
- ・ 地下水使用者からの費用負担を検討すべき
- ・ 地下水には水利権がなく、法的にも検討課題が多い
- ・ 新たな税収を森林整備の財源として明確に区分すべき
- ・ 新たな財源は基金で管理するとともに、その後の事業等を検証する仕組みが必要
- ・ 国で検討している環境税の動向についても留意すべき